

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	プロアマ・ランドレイダー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.520	△RG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：プロアマ・ランドレイダー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：プロアマ・アクアレイダー

フレアーの幅 インチ

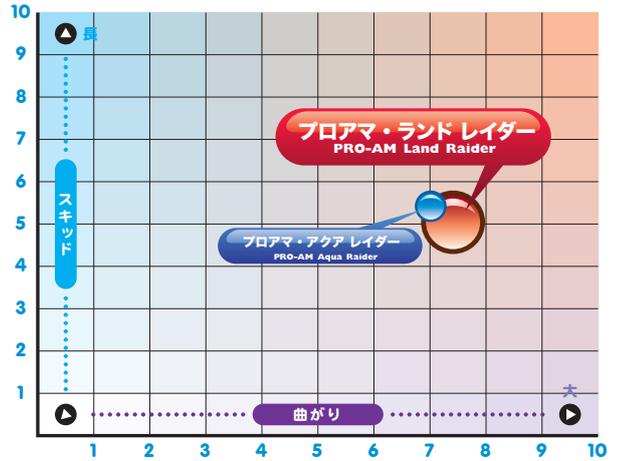
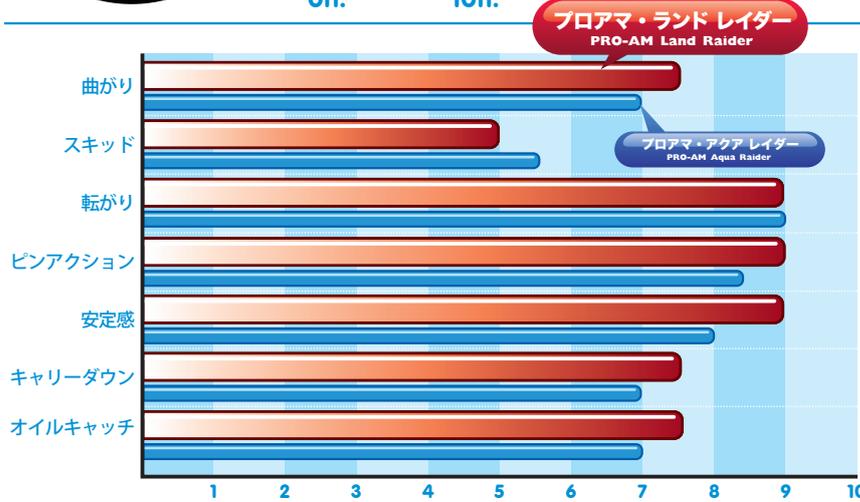
PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

Commander、Defender、Invader、そしてこのRaiderと常に進化を続けるPro-amシリーズ。今回リリースするLand Raiderはmedium領域で全体的にカバーのキャッチを強め、高いグリップ力を求めながら安定した軌道と扱いやすさが開発コンセプトです。Pro-amモデルの中でもmediumコンディションを中心に扱いやすさを求め作り上げてきたRaiderシリーズですが、このLand Raiderで早くも5作目になります。前作のAqua Raiderはスキッド感を前面に出し、バックエンドでのキレがあり良い評価を頂きました。今回のLand RaiderはRaiderシリーズで最もボールの動き出しに必要な不可欠なミッドエリアに焦点をおき、全体的にキャッチは強めながらもスキッドを邪魔しないキャッチにとどめ、動き出しの安定感に着目しました。

投げたイメージはやはりDefenderとの住み分けはしっかり違って、Defenderより先での動きはマイルドに仕上がっています。mediumコンディション用のカバーストックであるがゆえにオイルが多いコンディションでは性能を発揮できませんが、ミディアムからそれ以下のオイルパターンやコンディションになった時に一気に扱いやすさと軌道は安定し、ピンの飛びまがが変わります。

私にはLand Raiderが使えるコンディションぐらいになるとかえってDefenderでは先の動きがキツくて扱い辛く感じてしまうのですが、Land Raiderであればコントロール性では文句のつけようがありませんし、無駄にラインを大きくしなくて良い部分がスコアメイクに役立ちます。中盤でボールが暴れてスコアメイクに苦しむ方はこのボールをオススメします。

特記事項

Mediumコンディションを中心にコントロール性能を高め、扱いやすく実用的なボールです。先での動きならDefender。コントロール重視ならLand Raiderです。